

石川一郎 実業家。戦後復興期の日本財界の巨頭。

いしかわいちろう

内閣発足・・・1885 = 東京で、大坂の商家出身で関東曹達常務の石川卯一郎の長男に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 4歳 :

日清戦争始・1894 = **9歳** :

京華中学校を経て、

日比谷公園・1903 = **18歳** : 第一高等学校二部工科に入学、

日露戦争終・1905 = 20歳 :

満鉄発足・・・1906 = 21歳 : 東京帝国大学応用化学科に進学し、

伊藤博文暗殺1909 = 24歳 : 卒業。大学院に進み、一旦、関東曹達に入社するも、

大逆事件判決1911 = 26歳 : 同大学工科大助教授となる。

明治天皇没・1912 = **27歳** :

第一次大戦始1914 = 29歳 : 結婚。

21ヶ条要求・1915 = 30歳 : 父に懇請されて、東大を辞し、***関東酸曹に再入社、開花期のソーダ工業に寄与し、**

ロシア革命・1917 = 32歳 : **同社支配人、**

本格政党内閣1918 = 33歳 : 特に第一次大戦後の輸入ソーダの圧迫によってソーダ工業が沈滞し、曹達晒粉同業会が組織されて以後、**業界の世話役としても活躍、**

大暴落・・・1920 = 35歳 : 同社常務取締役を経て、

原敬首相暗殺1921 = **36歳** :

関東大震災・1923 = 38歳 : **関東酸曹が合併した大日本人造肥料の取締役工務部長、**

治安維持法・1925 = 40歳 : 同社常務、

海軍軍縮条約1930 = **45歳** :

満州事変・・・1931 = 46歳 :

日中戦争始・1937 = 52歳 : **日本人造肥料が日本化学工業を合併して成立した日産化学工業の専務取締役。**

第二次大戦始1939 = **54歳** :

大政翼賛会・1940 = 55歳 : 同社副社長。

日米開戦・・・1941 = 56歳 : **同社社長となり、**

・・・1942 = 57歳 : ***化学工業統制会会長に就任し、**

敗戦・・・1945 = 60歳 : 敗戦を迎える。**敗戦後、各業種別統制会の協議体である重要産業協議会が改組され、**

新憲法公布・1946 = 61歳 : ***日本産業協議会が設立されると会長に就任、ついで総合経済団体である日本経済連盟会が解散し、経済団体連合が結成されると最有力加盟団体の日産協会会長として代表理事に推され、**

極東裁判決・1948 = **63歳** : ***経団連第2回定時総会で初代会長に選任。**

三大事件・・・1949 = 64歳 : 昭和電工株式会社社長、

独立回復・・・1951 = 66歳 : 同社社長、

復興金融金庫設立、賠償問題、独占禁止法改正問題、講和問題などで戦後の財界の第1人者として指導的役割を果たした。

TV放送始・・・1953 = 68歳 : 再び会長。

自衛隊発足・1954 = 69歳 : **経済審議会会長にもなり、**

55年体制始・1955 = 70歳 : ジュネーブ原子力平和利用国際会議の日本首席代表となって以後、日本の原子力産業を先導、

国連加盟・・・1956 = 71歳 : 原子力委員会委員(委員長代理)。**経団連会長を辞任、名誉会長に推された。**

なべ底不況・1957 = **72歳** :

日本原子力船開発事業団理事長などを歴任。

安保闘争・・・1960 = 75歳 :

TV宇宙中継始1963 = 78歳 : 原子力委員会委員を辞任。

東京リトル川 1964 = 79歳 : カナダ・アメリカに行き、原子力船事業を視察。勲一等瑞宝章。

いざなぎ景気1966 = **81歳** : **経済審議会会長を辞任し、**

大阪万博・・・1970 = 85歳 : **没した。**